

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第9回月例研究会

日時：2011年6月8日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環A棟1階）

内容：「越中の立山の歌」

奥村 和美（文学部 准教授）

『萬葉集』卷十七に、越中において大伴家持の詠んだ「立山賦」（17・4000～4002）と、それへの大伴池主の敬和の歌（17・4003～4005）が載る。作歌にあたって数々の先行歌が手本とされているが、中でも山部赤人の歌からの摂取が著しい。いわゆる山柿論とはまた別の観点から、家持と池主の間での赤人歌摂取の具体的なありようを検討し、そのことが有していた意味を探る。」

ご自由にご参加下さい